

報道関係者 各位

令和7年3月14日

【照会先】

医政局医事課試験免許室

試験専門官 小澤 諒 (内線 2578)

国家試験係長 宇都 毅 (内線 2282)

(代表電話) 03(5253)1111

## 第118回歯科医師国家試験の合格発表について

令和7年2月1日(土)及び2日(日)に東京都他7カ所において実施した第118回歯科医師国家試験の合格者を発表しました。今回の歯科医師国家試験の合格者数等は次のとおりです。

### 記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,310人	1,973人	1,657人	84.0%
全体	3,431人	3,039人	2,136人	70.3%

## 第118回歯科医師国家試験の合格基準

第118回歯科医師国家試験の合格基準は、

一般問題（必修問題を含む）を1問1点、臨床実地問題を1問3点とし、

- ① 領域A（総論） 58点以上／97点
- ② 領域B（各論） 236点以上／363点
- ③ 必修問題 64点以上／80点

但し、必修問題の一部を採点から除外された受験者にあつては、  
必修問題の得点について総点数の80%以上とする。

とする。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 14 問

14 矯正歯科治療に用いる器具の写真(別冊No. 2)を別に示す。

レクタングュラーワイヤーの屈曲に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。
---

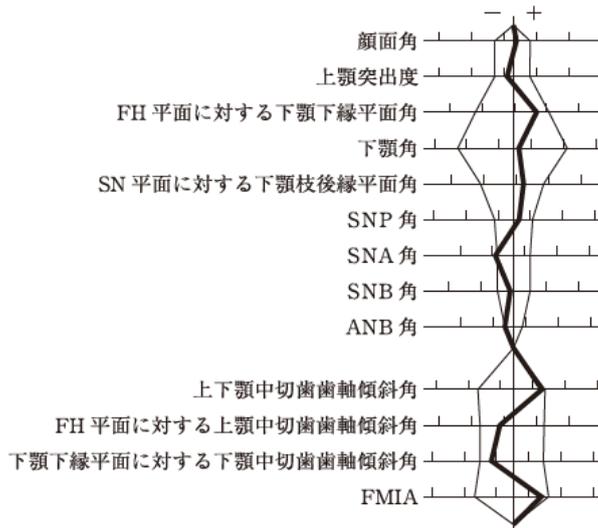
( 理 由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 22 問

22 21歳の女性。前歯の咬み合わせが悪いことを主訴として来院した。診断の結果、上顎両側第二小臼歯を抜去後、マルチブラケット装置を用いた矯正歯科治療を行うこととした。初診時の顔面写真(別冊No. 4A)、口腔内写真(別冊No. 4B)及びエックス線画像(別冊No. 4C)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



上顎のマルチブラケット装置と併用する適切な矯正装置はどれか。1つ選べ。

- a 急速拡大装置
- b 上顎前方牽引装置
- c クワドヘリックス装置
- d サービカルヘッドギア
- e Nance のホールディングアーチ

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

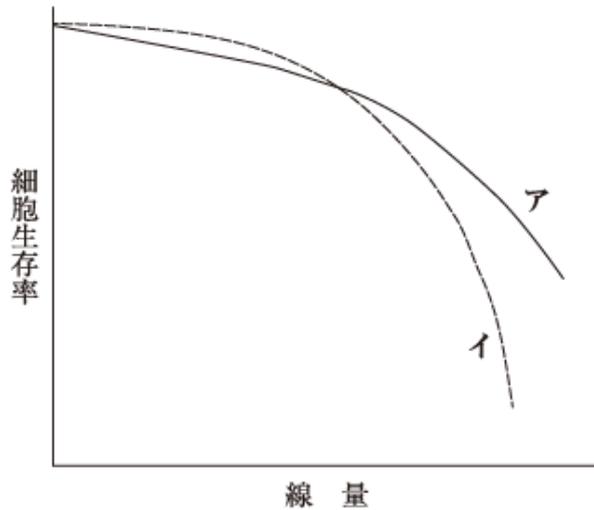
( 理 由 )

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 36 問

36 放射線量と細胞生存率曲線を図に示す。



アのタイプの反応を示すのはどれか。2つ選べ。

- a 肺
- b 骨 髄
- c 脊 髄
- d 粘 膜
- e 唾液腺

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

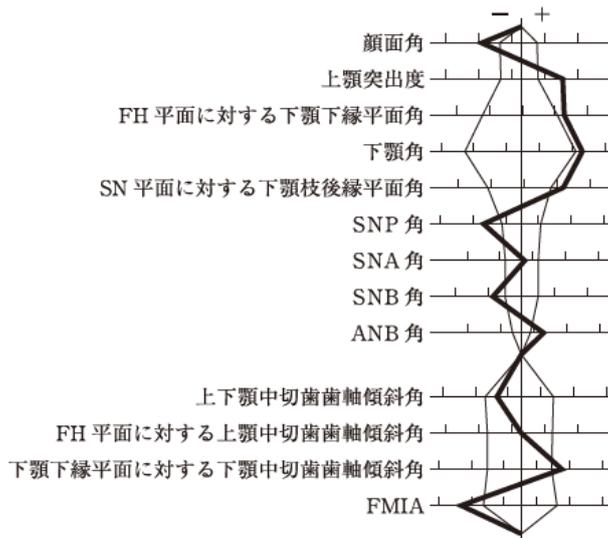
( 理 由 )

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 55 問

55 16歳の女子。顔の歪みを主訴として来院した。出生時に先天性疾患の診断を受けている。[2]、[5]に欠如歯を認める。Arch length discrepancy は上顎-5mm、下顎-2mmであった。重度の顔面非対称と診断し、外科的矯正治療を行うこととした。上顎はLe Fort I型骨切り術で咬合平面の傾きを是正し、下顎は右側に下顎枝矢状分割術、左側に骨延長術を行う予定とした。初診時の顔面写真(別冊No. 14 A)、口腔内写真(別冊No. 14 B)及び3D-CT(別冊No. 14 C)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



術前矯正治療で行うのはどれか。2つ選べ。

- a 下顎右側白歯の挺出
- b 下顎左側白歯の頬側傾斜
- c 上顎右側白歯の舌側傾斜
- d 非抜歯による歯列のレベリング
- e [4、5]の抜歯による歯列のレベリング

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 56 問

56 小児の歯科治療時の行動分類(Frankl の分類)で2度はどれか。2つ選べ。

- a 拒 否
- b 号 泣
- c 慎 重
- d 躊 躇
- e 不協力

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 59 問

59 頸動脈三角に存在するのはどれか。3つ選べ。

- a 舌動脈
- b 外頸静脈
- c 頸動脈洞
- d 上喉頭神経
- e 顎下リンパ節

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

選択肢において正解を得ることが困難なため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 B 第 18 問

18 男性での放射線障害で、しきい線量が最も低いのはどれか。1つ選べ。

- a 白内障
- b 皮膚発赤
- c 一時的脱毛
- d 一時的不妊
- e 造血能低下

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

( 理 由 )

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 B 第 35 問

35 44歳の女性。下顎右側第二大臼歯の動揺を主訴として来院した。1か月前から気付いていたが痛みがないのでそのままにしていたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 8A)とエックス線画像(別冊No. 8B)を別に示す。初診時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌側*	⑧	⑤	3
歯種	71		
頬側*	5	3	3
根分岐部病変**	2度		
動揺度***	2		

\* : プロービング深さ(mm)

○印: プロービング時の出血

\*\* : Lindhe と Nyman の分類

\*\*\* : Miller の判定基準

処置方針の決定に必要なのはどれか。2つ選べ。

- a 切削診
- b 歯髄電気診
- c 咬合接触検査
- d ボーンサウンディング
- e 歯科用コーンビームCT

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 B 第 52 問

52 唾液腺に潜伏するヒトヘルペスウイルス(HHV)はどれか。1つ選べ。

- a HHV-1
- b HHV-2
- c HHV-3
- d HHV-4
- e HHV-5

( 採点上の取り扱い )

複数の選択肢を正解として採点する。

( 理 由 )

複数の正解があるため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 B 第 54 問

54 持続可能な開発目標<SDGs>のうち FAO が目標にしているのはどれか。

1つ選べ。

- a 飢餓をゼロに
- b 気候変動に具体的な対策を
- c すべての人に健康と福祉を
- d ジェンダー平等を実現しよう
- e エネルギーをみんなにそしてクリーンに

( 採点上の取り扱い )

複数の選択肢を正解として採点する。

( 理 由 )

複数の正解があるため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 C 第 18 問

18 エタノールが最も強い殺菌効果を示す濃度はどれか。1つ選べ。

- a 20%
- b 40%
- c 60%
- d 80%
- e 99%

( 採点上の取り扱い )

複数の選択肢を正解として採点する。

( 理 由 )

設問が不明確で複数の選択肢が正解と考えられるため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 C 第 32 問

32 咀嚼時における上顎義歯の動揺を主訴として来院した患者の口腔内写真(別冊 No. 5)を別に示す。

新義歯製作に際して主訴の改善に寄与するのはどれか。3つ選べ。

- a 咬合床の形状
- b 個人トレーの形状
- c 精密印象材の流動性
- d 前歯部人工歯の材質
- e 前歯部人工歯の排列位置

( 採点上の取り扱い )

4通りの解答を正解として採点する。

( 理 由 )

4つの選択肢が正解であるため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 C 第 69 問

69 15歳の男子。開口困難を主訴として来院した。昨夜、自転車で転倒し顔面を強打したという。観血的整復固定術を行うこととした。初診時のエックス線画像(別冊No. 28A)と3D-CT(別冊No. 28B)を別に示す。

次に示す5つのステップのうち、3番目に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 顎間固定
- b 線副子の装着
- c 粘膜骨膜弁の剝離
- d スクリューによる固定
- e 骨接合用プレートの試適

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 C 第 83 問

83 咬頭嵌合位において臼歯部に Jankelson II 級の早期接触が認められた。

削合する部位はどれか。1つ選べ。

- a 下顎頬側咬頭外斜面
- b 下顎頬側咬頭内斜面
- c 上顎頬側咬頭内斜面
- d 上顎口蓋側咬頭外斜面
- e 上顎口蓋側咬頭内斜面

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

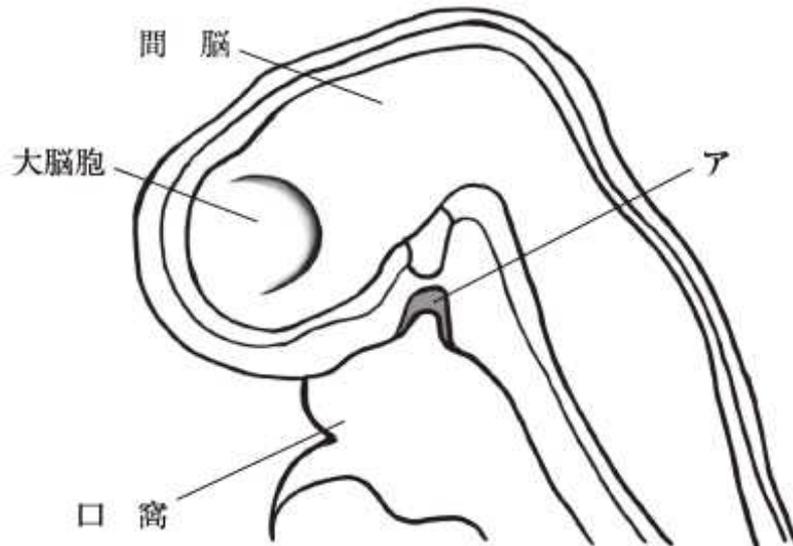
( 理 由 )

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 D 第 4 問

4 胎生 5 週ヒト胚子の頭頸部の模式図を示す。



アから形成されるのはどれか。1つ選べ。

- a 松果体
- b 下垂体前葉
- c 下垂体後葉
- d 甲状腺
- e 副甲状腺

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

( 理 由 )

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 D 第 13 問

13 表面麻酔に用いられるのはどれか。2つ選べ。

- a プロカイン塩酸塩
- b リドカイン塩酸塩
- c メピバカイン塩酸塩
- d プピバカイン塩酸塩水和物
- e アミノ安息香酸エチル〈ベンゾカイン〉

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。
---

( 理 由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 D 第 23 問

23 62歳の女性。上顎前歯の審美不良を家族に指摘され来院した。15年前に処置を受けたという。歯科治療に恐怖心があり、当該歯のみの処置を希望している。自発痛と誘発痛はなく、歯髄電気診に生活反応を示した。コンポジットレジン修復を行うこととした。初診時の口腔内写真(別冊No. 5A)とエックス線画像(別冊No. 5B)を別に示す。

審美性の回復に有効なのはどれか。2つ選べ。

- a プロットドライ
- b レイヤリング法
- c ラウンドベベルの付与
- d オペーク色レジンの利用
- e セレクティブエッチング

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

設問が不明確で正解が得られないため。

第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 D 第 59 問

59 ストレート形状と比べたテーパ形状のインプラント体の特徴はどれか。

3つ選べ。

- a 骨接触面積が小さい。
- b 埋入深度を調整しやすい。
- c インプラント体が破折しやすい。
- d 軟らかい骨質でも初期固定を得やすい。
- e 隣在歯歯根の位置関係による影響を受けにくい。

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。

歯科医師国家試験 合格者数等の推移

回数	施行年月日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第109回	平成28年1月30～31日	3,103 ( 1,969 )	1,973 ( 1,436 )	63.6 ( 72.9 )
第110回	平成29年2月4～5日	3,049 ( 1,855 )	1,983 ( 1,426 )	65.0 ( 76.9 )
第111回	平成30年2月3～4日	3,159 ( 1,932 )	2,039 ( 1,505 )	64.5 ( 77.9 )
第112回	平成31年2月2～3日	3,232 ( 2,000 )	2,059 ( 1,587 )	63.7 ( 79.4 )
第113回	令和2年2月1～2日	3,211 ( 1,995 )	2,107 ( 1,583 )	65.6 ( 79.3 )
第114回	令和3年1月30～31日	3,284 ( 2,103 )	2,123 ( 1,687 )	64.6 ( 80.2 )
第115回	令和4年1月29～30日	3,198 ( 1,999 )	1,969 ( 1,542 )	61.6 ( 77.1 )
第116回	令和5年1月28～29日	3,157 ( 1,919 )	2,006 ( 1,483 )	63.5 ( 77.3 )
第117回	令和6年1月27～28日	3,117 ( 1,962 )	2,060 ( 1,600 )	66.1 ( 81.5 )
第118回	令和7年2月1～2日	3,039 ( 1,973 )	2,136 ( 1,657 )	70.3 ( 84.0 )

※( )内は新卒者を示す

## 歯科医師国家試験 男女別合格者等の推移

回数	総数	男女別		男女別合格率(%)	
		男性	女性	男性	女性
第114回 (令和3年)	受験者数(人)	1,928	1,356	61.1	69.7
	男女比(%)	(58.7)	(41.3)		
	合格者数(人)	1,178	945	57.4	67.4
	男女比(%)	(55.5)	(44.5)		
第115回 (令和4年)	受験者数(人)	1,856	1,342	59.2	69.5
	男女比(%)	(58.0)	(42.0)		
	合格者数(人)	1,065	904	62.0	72.0
	男女比(%)	(54.1)	(45.9)		
第116回 (令和5年)	受験者数(人)	1,829	1,328	64.5	78.0
	男女比(%)	(57.9)	(42.1)		
	合格者数(人)	1,083	923	62.0	72.0
	男女比(%)	(54.0)	(46.0)		
第117回 (令和6年)	受験者数(人)	1,837	1,280	62.0	72.0
	男女比(%)	(58.9)	(41.1)		
	合格者数(人)	1,139	921	64.5	78.0
	男女比(%)	(55.3)	(44.7)		
第118回 (令和7年)	受験者数(人)	1,728	1,311	64.5	78.0
	男女比(%)	(56.9)	(43.1)		
	合格者数(人)	1,114	1,022	64.5	78.0
	男女比(%)	(52.2)	(47.8)		

第118回歯科医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

卒業年次	受験可能回数	受験者数(人)	構成比(%)	合格者数(人)	合格率(%)
新卒 令和6年4月～ 令和7年3月	1回	1,973	64.9	1,657	84.0
既卒 令和5年4月～ 令和6年3月 令和4年4月～ 令和5年3月 令和3年4月～ 令和4年3月 令和2年4月～ 令和3年3月 平成31年4月～ 令和2年3月 平成30年4月～ 平成31年3月 平成29年4月～ 平成30年3月 平成28年4月～ 平成29年3月 平成28年3月 以前	2回	423	13.9	262	61.9
	3回	201	6.6	106	52.7
	4回	95	3.1	37	38.9
	5回	74	2.4	24	32.4
	6回	56	1.8	17	30.4
	7回	36	1.2	11	30.6
	8回	42	1.4	8	19.0
	9回	38	1.3	6	15.8
	10回以上	101	3.3	8	7.9
	計		1,066	35.1	479
総計		3,039	100	2,136	70.3